



郷土の誇りをCMに ～ふるさとCM大賞えひめ'14審査会～

「ふるさとCM大賞」の審査会が、松山市総合コミュニティセンターで開催されました。

このイベントは、愛媛朝日テレビ主催で毎年開催されていて、今年で9回目を迎えます。

大洲市からは、オオズ☆ロケット団が参加し、うかいをテーマに制作された作品が見事特別賞を受賞しました。この作品は、年間20回テレビ放送されます。



「ある」のに「ない」ことにしない ～人権を考える仲間の集い～

櫛生福祉センターで「人権を考える仲間の集い」が開催されました。

小中校生による人権作文などの発表や人権作品の展示などが行われ、寒鰯の切り身即売、サザエの壺焼きなどのイベントも多数実施されました。

また、「もう少し『かしこく』『やさしく』『たのしく』」と題した江嶋修作^{しゅうさく}先生の講演が行われ、人権について考える良い機会になりました。



選手の熱気に寒さも吹き飛ばす ～肱川レクリエーションバレーボール大会～

肱川農業者トレーニングセンターで、恒例の肱川レクリエーションバレーボール大会が行われました。

今年は9チーム計79人が参加し、3ブロックに分かれた予選リーグの後、上位チームによる順位決定戦を行いました。

開会式では寒そうにしていた選手たちも、試合が始まると汗をかいて熱戦を繰り広げました。



ふるさと大洲の味を全国へ ～まめいりパック出発式～

主婦グループ「旬を愛する会」が手作りのまめいりを全国に発送する、まめいりパックの出発式が行われました。

この取り組みは、故郷のことを思い浮かべながら、家族一緒に食べてほしいという願いを込めて、昭和63年から続けられています。

今年もふるさと大洲の味が、全国各地へ発送されました。



川面に願いをのせて ～ひな流し～

中野、正山、大谷、予子林、河辺の各幼稚園児23人と肱川支部老人クラブによる「ひな流し」が、肱川支所裏河原で行われました。

肱川地区の4幼稚園は、4月から統合するため各幼稚園として最後の「ひな流し」となりました。

園児たちは、手作りのひな人形に、それぞれの願いを込めて川に流しました。



江戸時代の石垣修理跡などを発見 ～大洲城跡発掘調査現地説明会～

大洲城跡の本丸井戸^{くろわ}曲輪において、石垣修理工事に先立ち実施された、発掘調査の現地説明会が開催されました。

調査では、江戸中期と考えられる石垣の修理跡や、幅4mもある石垣裏込^{うらごめ}などが発見された他、樹木の根が石を押し出し、石垣に影響を与えている状況なども確認されました。今後、石垣の解体が行われる予定で、新たな発見が期待されています。



揺らめく灯りに温かさを感じて ～オオズキャンドルナイト#5～

オオズ☆ロケット団主催の「オオズキャンドルナイト#5～大洲城 音と灯りの晚餐会～」が大洲城で開催されました。

今年は、市内全ての小中学生や高校生などからキャンドルアート4,629個の応募があり、大洲市長賞などの入賞者の表彰が行われました。

2日間で約8,000人が来場し、キャンドルの幻想的な灯りを楽しみました。



女性の力で地域に活力を ～平成25年度大洲市連合婦人会大会～

地域婦人会の充実と発展を願い、現代社会に対応した婦人会活動のあり方を考えることを目的として、平成25年度大洲市連合婦人会大会が開催されました。

100人の出席者による「うれしいひなまつり」の合唱で始まり、各部の実践報告が行われた後、徳森婦人会と大洲婦道会の研究発表があり、婦人会活動の今後について協議をしました。

がんばる大洲企業



株式会社 梶田商店
 本物のしょうゆを守り伝えるために

弊社は明治7年の創業で、今年で140年を迎えます。地元はもとより東北地方から九州地方まで多くの特約販売店があり、しょうゆ、みそ、食酢、その他調味料の販売をしています。販売している商品は、仕込みから販売するまで1年半から2年の醸造期間を要する昔ながらの製法にこだわり、100%弊社で醸造しています。

良い商品を作るためには、良い原材料を手に入れることが不可欠です。そのため弊社では、地元産の大豆や小麦を使用し、契約栽培農家から購入するなど、原材料をほとんど吟味して製造しています。また、原材料や製品の成分の分析

▽所在地 中村559
 電話 ②42021

を行い品質を追求し、徹底した品質管理を行っています。

製造工程で大切なことは、昔から「1. 麴 2. 糶 3. 火入れ」といわれています。良い麴を製し、適切な攪拌をして、最後に品質を安定させるために火入れで殺菌と香り付けを行います。攪拌も火入れも、非常にデリケートな作業です。

これからも、手間と時間をかける昔ながらの製法にこだわり、全国のみなさんに喜んでもらえる商品を提供していきます。



文化財

木造吉祥天立像 1 軀
 愛媛県有形文化財(彫刻)
 金竜寺所有



本像は、大洲市手成にある金竜寺に兜跋毘沙門天像とともに安置されている木像です。

吉祥天は、優雅な中国風の衣装に冠、左手に宝珠を持った姿で描かれることが多く、繁栄や幸福を顕す神として崇敬されています。また、仏教では毘沙門天の妃とされ、毘沙門天の脇に置かれていることもあります。

高さ1m60cmになる本像は、ヒノキの一木造りで、両袖先までは共木で造られ、内割りには施されていませんが、下部は円すい形の内割りをを行い乾燥による割れ止めが施されています。

11世紀初頭の作と推定される本像は、面相や衣文の刀法が温雅でよく調和が保たれていて、地方仏師の作風の分かる顕著な例として貴重な仏像です。

(昭和40年4月2日指定)

野鳥



コガモ (小鴨)
 カモ目カモ科
 全長 36cm

春本番の5月上旬まで残り、秋には一番早く渡って来るカモの仲間です。愛媛にやって来る個体は、ユーラシア大陸で子育てした後、ほとんど国内で生活しているように思われます。名前のとおりカモ類の中で最小で、キジバトほどの大きさです。大きな川や池まで幅広く生息していて、人なれして人家のすぐ近くの小川にいたり、県内の飛来数も6000羽以上とマガモの次に多く観察されています。

環境汚染が国境を越えて進んでいる近年、野生生物は自然界のバロメーターとして活躍しています。特に野鳥は、自由に場所を行き来するため、常に観察することでいち早く異常を知ることができ、人々の生活に役立つのではないかと思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

育児のお悩み相談所



子育ては楽しい反面、想像以上に大変なことです。悩みのある場合、一人で悩まずに、周りの人や関係機関へ気軽に相談しましょう。

お悩み①

赤ちゃんに何を話しかければいいかわかりません。どうすればいいでしょうか。

—温かい言葉を待っています—

生まれたばかりの赤ちゃんでも、お母さんの声と、お母さん以外の人の声を聞き分けているといわれています。

「おなかすいたの」「おむつが濡れたのかな」など、その時の気持ちや行動を言葉に出したり、「あー」「うー」という赤ちゃんの言葉に、「ふーん、そうなのー」などと応えてみましょう。

赤ちゃんにとって、いつも身近にいてお世話してくれるお母さんや家族から言葉をかけてもらうのは、とても気持ちのいいことです。



お悩み②

2歳の子どもの母親です。気に入らないことがあると「いやいや」と大声で泣きわめきます。どうしたらいいでしょうか。

—子どものプライドを大切に—

2歳くらいになると、なんでも自分でやってみたくありません。しかし、まだうまくはできません。自分でもイライラしているところに親が手を出そうとすると、子どもは「イヤッ」となります。接する時の一例ですが、できなくてかんしゃくを起こす場合、子どもの後ろに回って気づかれないように手助けするのも一つの方法です。「自分でできた」と思う経験をいっぱいつくってあげましょう。

【問い合わせ先】

大洲市保健センター

☎ 0310

大洲市消費生活センター通信

春は引っ越しシーズンです。そこで今回は、賃貸住宅契約の際に起こりがちなトラブルを未然に防ぐポイントを紹介します。

契約時

- ▽部屋の下見を必ずすること
- ▽重要事項の説明を受け、理解した上で契約するかどうか決めること

▽特約（退去時の負担など）について確認し、納得して契約すること

入居時、入居中

- ▽まずは部屋を点検し、気になる箇所については貸主へ連絡して写真を撮っておくこと
- ▽部屋の設備などに故障・修理の必要な場合には、速やかに貸主へ連絡すること

退去時

- ▽明け渡しまでに片付け・掃除を完了しておくこと
- ▽立ち合いには必ず同席して、原状回復が必要な箇所の費用負担について確認すること
- ▽トラブルを防ぐため修繕箇所の写真を撮る。

費用負担については、契約書や国土交通省が定めた「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」を参考に話し合いましょう。

お困り際には、宅地建物取引業協会や消費生活センターなどに相談してください。

【問い合わせ先】

大洲市消費生活センター

☎ 1790

【相談受付時間】

平日9時～正午、午後1時～5時
(祝日除く月～金)



※不明な点などがある場合、契約をする前に遠慮なく質問し理解しましょう。

「守りたい」熱い思いを原動力に



～平成26年大洲市消防出初式～

平成26年大洲市消防出初式が、3月2日(日)に行われました。当日は雨のため、大洲市民会館での開催となりましたが、市内各地区から1,208人も消防団員が参加しました。

式典では、殉職消防職団員に対する黙禱^{とつ}を捧げた後、清水市長が「近年は、局地的な豪雨や台風などによる災害が頻発し、地域防災力の重要性^{きんぎん}が増大しています。地域防災体制の確立が喫緊の課題となる中、消防団員の活動が中核的存在として、今後も大きな役割を果たすことが期待されています。地域のため、大洲市のため、一層の精進をお願いします」と式辞を述べ、団員への表彰に移りました。

受章者を代表して、女性分団の白石朱美分団長^{あけみ}は「今回の受章は、今まで支えてくれた家族や消防団活動への理解をいただいた職場のみなさんのおかげであり、感謝の気持ちを忘れてはいけません。本日の感激を深く胸に刻み、地域住民の生命と財産を守るため、任務の重要性を再認識しながら使命達成に向けてまい進していきたいと思えます」と謝辞を述べられ、今後の消防業務への決意を新たにしていました。

今年の出初式では、活動に功績のあった242人の団員などに対し、それぞれ表彰状や感謝状が贈られました。

団員たちの思いが、この場所に結集します。

消防団にとって、大切な式典である出初式。

という強い気持ちです。

『自分を、大切な人を、故郷を守りたい』

消防団活動の原動力…それは、

もしもの時に備え、日々訓練に励んでいます。

地域の安全を守るために必要不可欠な消防団。



今回の出初式で、表彰されたみなさんは次のとおりです。
(敬称略・一部省略)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章 (5名)

本部副団長 山本 廣喜
本部副団長 渡部 和久
本部副団長 村上 正春
河辺分団 副分団長 有友 章治
大洲地区広域消防事務組合 芝田 隆
消防監

日本消防協会会長表彰

功績章 (1人)

本部副団長 青木 信善
精績章 (5人)

本部副団長 渡部 和久
菅田分団 分団長 村上 松平
柳沢分団 分団長 増岡 学
長浜分団 分団長 鎌田 清仁
女性分団 分団長 白石 朱美
勤続章 (9人)

本部副団長 山下 雅英
本部副団長 上田 恒雄
南久米分団班長 武田 実
菅田分団 分団長 村上 松平
菅田分団 部長 岩井 輝満
粟津分団 分団長 芳我 亀代士
上須戒分団分団長 梶谷 聖明
長浜分団 班長 浪本 一
大谷分団 分団長 丸川 浩一

愛媛県知事表彰

功労章 (10人)

肱南分団 副分団長 白石 卓也
肱北分団 分団長 富永 憲司
南久米分団副分団長 吉月 剛
柳沢分団 副分団長 福住 幸尚
三善分団 副分団長 瀧本 良一
上須戒分団分団長 梶谷 聖明
白滝分団 副分団長 松岡 幹雄
女性分団 分団長 白石 朱美
大洲地区広域消防事務組合 森松 忠雄
消防司令 松尾 文夫
消防司令

愛媛県消防協会会長表彰

功績章 (6人)

本部副団長 渡部 和久
菅田分団 分団長 村上 松平
大川分団 分団長 新山 勝久
大和分団 分団長 日野 修次
中央分団 分団長 富永 秀昭
大谷分団 分団長 丸川 浩一
勤続章 (20年以上 3人)

大川分団 班長 石本 重雄
新谷分団 団員 一宮 光一
三善分団 団員 城戸 孝一

勤続章 (15年以上 22人)

肱南分団 部長 高屋敷 鉄夫
肱北分団 副分団長 今藏 敬二
平野分団 団員 上市 秀樹
南久米分団班長 濱田 昌宏
南久米分団班長 岩田 勉

菅田分団 班長 菅田 亮浩
菅田分団 班長 菅田 真一
大川分団 班長 久保 真一
柳沢分団 班長 瀧本 真一
新谷分団 班長 篠原 喜英
三善分団 班長 池田 文雄
粟津分団 班長 松本 寿志
上須戒分団班長 丸岡 和彦
長浜分団 班長 村越 徹
長浜分団 班長 西山 直宏
長浜分団 班長 田淵 章弘
喜多灘分団班長 津田 敏幸
喜多灘分団班長 宮田 勇二
喜多灘分団班長 久保 広行
大和分団 班長 尾上 富夫
中央分団 班長 富永 幸広
正山分団 班長 山本 晃
岩谷分団 班長 西本 幸広

勤続章 (10年以上 15年未満 26人)

肱南分団 班長 中川 亮浩
肱南分団 班長 久保 真一
肱南分団 班長 谷本 直俊
肱北分団 班長 徳田 政信
平野分団 班長 古田 伸治
南久米分団班長 服部 直人
大川分団 班長 上田 浩之
柳沢分団 班長 中野 眞寿男
新谷分団 班長 平井 高志
新谷分団 班長 袖岡 俊宏
三善分団 班長 片岡 由裕
粟津分団 班長 都築 昭宏
上須戒分団班長 神山 哲夫
長浜分団 班長 石田 利久

喜多灘分団班長 松下 努
大和分団 班長 河内 義勝
白滝分団 班長 久保田 忠
白滝分団 班長 後藤 津義
白滝分団 班長 森川 義孝
白滝分団 班長 城ノ戸 義国
中央分団 班長 金野 友樹
正山分団 班長 谷田 大成
予子林分団班長 藤原 孝行
予子林分団班長 久保田 辰介
河辺分団 班長 古野 誉
女性分団 部長 大藤 ユリ子

規程章 (勤続10年未満 3人)

菅田分団 班長 別宮 雄介
菅田分団 班長 梶原 秀行
河辺分団 班長 壽野 公英
家族内助の功労章 (1人)
本部副団長 山下 雅英
夫人 山下 久子

優良団体表彰 (2団体)

大川地区自主防災組織 松岡 昇平
白滝地区自主防災組織 上満 武

大洲市長表彰 (61人)

大洲喜多消防団連合会会長表彰

規程章 (7人)

大洲市消防団長表彰 (32人)

平成25年度大洲市人権・同和教育研究大会



平成25年度大洲市人権・同和教育研究大会が2月21日(金)、国立大洲青少年交流の家で開催されました。この大会は、人権・同和教育の推進と差別解消を図ることを目的にしています。

午前中は、5分科会において10本の実践報告がありました。それぞれの分科会では、参加者による熱心な協議が行われ、差別解消に向けて意欲を新たにしました。

午後からは、「被虐待の淵を生き抜いて〜今、私たちにできること〜」と題した島田妙子さんによる講演がありました。島田さんは、「子どもの虐待防止は、虐待する大人の心を助けることである」と自身の体験を基に話されました。力強い話は、参加者一人ひとり



に素晴らしい感動と共感を与え、胸を打つものがありました。

現代社会は、子どもの虐待をはじめさまざまな人権課題を抱えています。行政だけでなく、家庭・学校・地域が一体となり、児童生徒の健全育成に努めていくことが求められています。

市では、大洲市人権尊重のまちづくり条例を制定し、人権を尊重する取り組みを進めています。また、「差別のない社会こそが住みよい地域であり、誇れるふるさとであること」「子どもたちは、家庭の宝・地域の宝であること」を前提に、今後も人権・同和教育に力を入れていきます。

第13回 版画絵はがきコンテスト

肱川風の博物館・歌麿館で、第13回版画絵はがきコンテストが開催されました。このコンテストは、江戸時代の代表的な浮世絵師喜多川歌麿の描いた版木が発見されたことをきっかけに始まりました。今回は、北海道から長崎県まで33都道府県から475点の応募があり、下記のみなさんが大賞、優秀賞に選ばれました。

応募作品は、6月30日(月)まで展示されています。

【一般の部】



大賞 蔭山 茂富さん



優秀賞 高比良 宏さん

優秀賞 石崎 敏子さん



【中学生以下の部】



大賞 樽川 晃汰さん



優秀賞 橋本 菜々さん



優秀賞 桑原 莉空さん